

池上雪枝 わが国最初の感化事業創始者。自らは失敗したものの、先駆的であり、後世に大きな影響を与えた。

いけがみゆきえ

・ ・ ・ ・ ・ 1826 = 大坂天満に生れる。旧姓大久保。父又一郎は天満に剣道道場を開き医業を兼ねる。母は豪商の娘。

__幼少時から天才少女とうたわれ、

富嶽三十六景1831 = 5歳 : __仁孝天皇の嵯峨離宮観楓の宴に召され和歌を詠み、近衛家の老女村岡局が教育を授けることを所望、

天保大飢饉始1833 = 7歳 : __近衛家に預けられ、教養面や思想形成の上で影響をうけ、勤王志士との書簡の往復などで脇役を務める。

滑稽+人情本 1835 = **9歳** :

大塩平八郎乱1837 = 11歳 :

天保改革終・1844 = **18歳** :

阿部正弘首座1845 = 19歳 :

万次郎帰国・1852 = 26歳 : __鯛屋歎三と結婚、池上姓を名のり、

ペリー来航・1853 = **27歳** :

5男2女をもうける。

桜田門外変・1860 = 34歳 :

生麦事件・ ・ 1862 = **36歳** :

明治維新・ ・ 1868 = 42歳 :

__夫は商売に携わるが失敗、医業を継ごうとするが認められず、家庭の危機を迎えた。

廃藩置県・ ・ 1871 = **45歳** :

明治6年政変 1873 = 47歳 :

__雪枝は身につけた易学、占相学、墨色判断などの売トで生活を支え、特に易学では大きな評価を得、

__また神道の布教を志し、

・ ・ ・ ・ ・ 1880 = **54歳** :

明治14年政変1881 = 55歳 :

岩倉具視没・1883 = 57歳 : *大阪北区空心町(松ヶ枝町)に神道祈禱所を設け、同時に天満宮周辺にたむろする非行少年たちをあわれみ、自宅に「池上感化院」を設立、少年保護事業に従事。

秩父事件・ ・ 1884 = 58歳 : 松ヶ枝町に移転。

内閣発足・ ・ 1885 = 59歳 : *感化教育の指針を示すために機関誌「雪枝草紙」を刊行。

__しかし長期展望を持たず独力で遂行しようとしたあせりなどで急速に衰退し、

初の対等条約1888 = 62歳 : *この頃には閉鎖同様となり、

帝国憲法発布1889 = **63歳** :

足尾鉾毒始・1891 = 65歳 : __感化院復興を夢見ながら、没した。

昭和39年(1964)大阪市は感化院跡に記念碑を建てた。